

情報提供日	2024年（令和5年）6月10日
情報提供者	明石市漁業組合連合会 豊かな海づくり課(担当：渡邊・福田) TEL:918-5254 内線：2585・2586

明石市内の園児・児童による「稚魚放流」と「たこつぼ絵付け」を実施 ～ あかしの豊かな海を未来へ ～

本会では、豊かな海づくりの機運醸成を図るため、担い手（将来の消費者）育成の試みとして、下記のとおり市内の園児・児童による取り組みを実施し、こどもたちと豊かな海づくりへの思いを共有したいと考えております。

記

1 目的

豊かな海づくりの実施を子どもたちから発信していくとともに、「明石のたからもの」である、「明石だこ」や「豊かな海づくり」について親しみや関心を持ってもらいシビックプライドの醸成を図る。

2 日時場所・内容

月 日	時 間	場 所	内 容
6月19日 (水)	9時30分から11時頃	林幼稚園 林崎松江海岸	出前授業 ヒラメ稚魚の放流
6月28日 (金)	8時45分から10時25分	大観小学校図工室	活タコの出前授業 (講師：漁業者) たこつぼの絵付け

3 主催

明石市漁業組合連合会(会長職務代理者 副会長 戎本裕明)、明石市豊かな海づくり課

4 協力

兵庫県水大気課、ひょうご豊かな海づくり協会 等

5 参加者

林幼稚園園児、大観小児童、市内漁協関係者、市職員 等

6 備考

園児の稚魚放流については、9時30分から15分程度出前授業を行った後、海岸に移動し、準備が整い次第、10時頃から海岸で放流を開始する予定です。その後、関係者全員で記念撮影を行います。

※少雨決行、荒天中止です。

問い合わせ先
明石市環境産業局
産業振興室 豊かな海づくり課（渡邊・福田）
078-918-5254

1 稚魚（種苗）放流事業

持続型漁業の実現を目指し「とる漁業から育てる漁業へ」を合言葉に、資源管理のひとつとし昭和42年から実施しています。種苗生産施設から稚魚の供給を受け、明石市沿岸地域の適地に放流する事業です。資源の保護や増殖に関する啓発をするため明石市漁業組合連合会が本業務を実施しています。

令和5年度種苗放流実績					
魚種	メバル	ヒラメ	マコガレイ	マダイ	キジハタ
実施日	5月15日	5月15日	5月18日	7月25日	8月31日
尾数	6,200尾	51,000尾	15,000尾	15,000尾	7,000尾
平均	41.7mm	81.3mm	42.0mm	51.6mm	54.3mm
最小	33.1mm	71.3mm	28.5mm	42.0mm	40.3mm
最大	56.5mm	90.3mm	61.7mm	61.6mm	66.3mm
放流場所	魚住沖	藤江沖	八木沖～魚住沖	魚住沖	江井ヶ島港内
	6,200尾	18,000尾	15,000尾	3,750尾	7,000尾
		二見沖		江井ヶ島沖	
		33,000尾		11,250尾	

2 産卵用たこつぼ投入事業

昭和41年から、市と市漁連が連携し、素焼きの産卵用たこつぼを投入しています。これまで57年以上にわたり投入した、たこつぼの数は、のべ20万個以上におよびます。さらに、漁業関係者独自の取り組みとして、たこつぼの中で産卵した抱卵親タコを捕獲した際には、たこつぼごと海へ再放流する取り組みも同時に実施しています。



3 昨年の取り組み状況



マダコが明石の海にたくさん生まれ、育つよう産卵用たこつぼに思いや願いや絵を描く特別授業

